

《十小スタンダード及び全校で統一する取組》

◆はじめとおわりに あいさつしよう ◆必要なものだけ 机の上に ◆よい姿勢で 座ろう「ぐう ぴた ぴん」 ◆「はい」 立つ 「～です」

☆児童の実態に合った問いかけをする ☆教室前面を統一するなど、学習環境のユニバーサル化を図る ☆東京ベーシックドリルの活用

《今年度、学年として、何事にも進んで挑戦し、やる気満々の児童を育てるために系統立てて取り組むこと》

- 学習のゴールイメージをもち、問題を発見し、解決の道筋を考える。
- 学習する過程で、自分の考えを表現し、解決の方法を修正できる。
- 学び合い、考えや学び方を広めたりふかめたりできる。

授業改善に向けた教科ごとの方策 第4学年

教科名	児童の実態	学年末までに期待される児童の姿	具体的な授業改善策(箇条書き)	検証及び修正案
国語	○文章に即して、場面の様子や登場人物の気持ちを読み取ることは、意欲的に取り組んでいる。 ○段落相互の関係を考えながら読むことや、要旨をまとめることは苦手である。 ○書くことに抵抗感は少ないが、文章の書き方(文の構成)は定着していない。その都度指導を入れないと書くことができない。	○物語文では「登場人物の心情」がわかる言葉や文にラインを引き、それぞれの登場人物の心情を考えられる。 ○説明文では「大事な言葉」「繰り返されている言葉」等を中心に段落のつながりを考え、初め、中、終わりの組み立てをまとめられる。 ○書きたい文章の内容に合った構成を選び、それに当てはめて文章を書ける。	○説明文や物語文で、文章内のキーワードを確認する活動を取り入れる。 ○段落や文のまとまりごとに内容を要約する練習を行う。 ○文章の種類による構成を提示し、書き方を練習する。 ○感染予防のため、グループでの交流を減らし、全体で意見交換をする。	
社会	○学習したことを自分自身のこととして捉え、身近な生活に生かしていこうとすることには課題が多い。 ○資料やグラフを注意深く読みとめることは苦手である。ノートや新聞形式にまとめる力は個人差があるものの意欲的である。 ○基本的な事項に関する理解はおおむねできている。しかし、様々な用語を正しく身につけるのが難しい児童も見られる。	○地域社会が様々な工夫や努力をしていることに気づき、自分自身も地域社会の一員として進んで取り組もうとする。 ○「東京都」の産業や人々の暮らしとのつながりについて、確かな知識が定着している。 ○白地図への書き込みや資料の読み取りを中心に、知識として定着している。 ○地域の発展に尽くした先人の働きを理解して、地域に対する愛情と誇りをもつ。	○資料を読み取る力を育てるために、課題意識をもたせ、資料から読み取ったことで課題が解決していくような授業展開をする。 ○具体物や写真、ICTを活用するなどの教材の工夫をする。 ○繰り返しワークに取り組み、知識の定着を図る。 ○感染予防のため、グループでの交流を減らし、全体で意見交換をする。	
算数	○1年生から3年生までの四則計算がすらすら解けない児童がいる。かけ算九九を全ての段覚えていない児童がいる。 ○計算や、図形や表、グラフなどの処理はおおむね理解できている。 ○文章から必要な情報を読み取り、適切に立式することができる児童が少ない。 ○計算の仕方や答えを出した過程を分かりやすく説明できる児童が少ない。	○計算練習に意欲的に取り組み、自信をもって正確な計算ができる。また、東京ベーシックドリル診断シートの計算問題を正確に解くことができるようにする。 ○9割の児童が問題を正確に読み取り、立式したり、答えを求めたりすることができる。 ○見通し(予想)を基に、自ら7割の児童が表やテープ図などを用いて自分の考えを表現し、考えたことを伝えることができる。	○前時までに学習した問題と本時でこれから学習する問題を比較させることで、児童に相違点を気付かせ、本時のめあてを立てるようにする。 ○算数～考え方のヒント～を提示し、問題を解決するための方法と答えの見通し(予想)を立てさせてから、自力解決に取り組ませる。 ○友達を発表を聞くときには、自分の考えと比較して、どのような共通点と相違点があるのかという視点をもたせる。 ○感染予防の観点から、意見の交流ではICTを活用したり、全体で意見交換をしたりする。	
理科	○実験や観察に対する関心が高い児童が多く、理科の学習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。 ○日常生活の中で見たことがあることや体験したことがある出来事と、実験・観察している内容を結びつけていないために、考えを深められていない。 ○観察や実験で多くの発見をすることができる。しかし、それを記録したり発言したりしないことが多い。	○事象に対して仮説を立て、調べる方法を考え、結果と考察ができる。 ○事象について疑問をもち、進んで解決しようとする態度が身につけている。 ○観察・実験したことを図や具体物を使って説明することができる。	○問題・予想・実験計画・結果・まとめをどの実験でも同じように展開していき、定着させる。 ○児童がもつ事象への疑問から単元の学習を進めていく。 ○感染予防のため、グループでの交流を減らし、全体で意見交換をする。また、実験は各自で行ったり教師実験を行ったりする。	
体育	○動きのポイントを理解して取り組む児童が多いが、自分の課題を見つけ、課題に対してどうすればよいかを考えて運動することに課題がある。 ○器械運動では、基本的な動きや技ができない児童が多い。 ○動きを見合って、伝え合う活動では、受け身になる児童が多い。 ○体の柔軟性がない児童が多い。	○技能のポイントを理解しながら自分の課題を見つけ、目標に向かって意欲的に学習することができる。 ○チームで話し合い、ゲームの作戦をたてたり練習を工夫したりすることができる。 ○友達と協力しながら活動する中で、勝ち負けだけではなく運動する楽しさ、チームで目標を達成する喜びを感じることができる。	○チームで話し合う時間では、良いところや課題を話し合えるよう見るポイントを示す。 ○学習カードを活用することで、動きのポイントを理解し、課題を見つけられるようにする。 ○感染予防のため、ソーシャルディスタンスを取る。また、共通の用具を使う場合手洗いを徹底する。 ○運動中はマスクをとるように呼び掛ける。	
外国語活動	・テンポよく発話することで、英語の表現を身に付けることができている。 ・外国語に関心をもち、楽しんで活動に参加している。 ・コミュニケーションをとること自体に苦手意識を持つ児童には、個別に声をかけ良く説明を行った上で、活動に入ることで、抵抗感が少なくなっている。	・日本語と英語のリズムなどの音声の違いに気づき、相手意識をもって英語の表現に慣れ親しむことができる。 ・英語での色々な表現を知り、状況に合わせて表現することができる。	・音楽やリズムを取り入れて、体で英語を覚えられるようにしたり、イラストなど視覚的資料を充実させて、英語での表現を身に付けさせたりする。 ・1時間の授業の中で英語を使う活動をいくつか設定し、楽しみながら、たくさん英語を使わせるようにする。 ・感染予防のため、グループでの交流を減らし、全体で発音するようにする。	
総合	○与えられたテーマに興味をもち、自分で課題を設定することはできるが、見通しをもって計画的に学習を進めていく力はまだ弱い。 ○情報を集めることはできてきたが、その中から自分の課題に必要な情報を選ぶことが難しい。 ○資料を読み取り、理解したうえでまとめる力は弱い。 ○まとめる過程で、アイデアを出し、工夫して表現する力は弱い。 ○話し合い活動が制限される中、グループ内の考えの交流や高め合いができていない。	○課題をもち、調べ、まとめる中で、主体的に活動していくことができる。 ○与えられた問題の中から課題を見つけて、解決に向けた計画を立てることができる。 ○様々な発表のしかたに慣れ、内容に適した方法で発表ができる。	○提示された資料を基に、自ら課題を見つけ、調べ方を考え、調べて発表する活動を行う。 ○集めた情報から自分の必要なものを取捨選択することを指導する。 ○感染予防のため、グループでの交流を減らし、全体で意見交換をする。	
音楽	・楽譜に階名を書く学習に興味をもって取り組む児童が多い。 ・一つの活動を終わるとすぐに喋りだす傾向が目立つ。	・自分たちで曲想に合った雰囲気を作り出し、演奏できる。 ・音のマナーを守り、お互いに気持ちよく授業を受けている。	○平易な曲を用い、横並びペア或いは小グループで音を合わせる機会を設ける。 ○目で見てわかる合図、できたことが確認できる印、などを活用する。	
図画工作	○表す活動への関心が高く、材料や用具の使い方を試しながら取り組むことができている。 ○身近にある作品などを鑑賞することに興味はあるが、表し方の工夫や造形的なよさとして捉えるまでは至らない児童が多い。	○材料や用具の特徴を生かしながら活動に取り組み、表現方法を工夫して表すことができる。 ○鑑賞では、自分の感覚や行為と照らしながら形や色などの感じに着目し、造形的なよさや工夫について考えることができる。	○材料や用具を試す時間を十分に設けるとともに、個々の発見を全体で共有した上で、表し方を考えさせていく。 ○活動の過程や作品を通して、児童自身が工夫できたことを意識できるように声かけを行い、形や色などの感じに目を向けさせていく。 ○感染予防のため、机に衝立を設置し、授業の前後の手洗いを徹底させる。	